

6. 薬学部

(分析項目Ⅰ 研究活動の状況 18)

(分析項目Ⅱ 研究成果の状況 18)

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 地域貢献研究として、近年消費が低迷している長崎県産茶葉を長崎県の特産品であるビワ、ツバキ及びミカンと混合して製造する発酵茶の開発を、産学官連携の下で行い、このうちビワ及びツバキの混合発酵茶については平成 21 年、平成 23 年から市販化を実現している。これらの発酵茶については様々な用途開発及び品質管理に関わる共同研究を第 3 期中期目標期間においても継続しており、特に前述のビワ混合発酵茶については内臓脂肪軽減効果があることを新たに確認し、平成 31 年 2 月に消費者庁から地方自治体に関わる機能性表示食品として全国で初めて認定され、この件は令和元年 9 月 11 日の長崎新聞に記事として掲載された。さらに、ミカンについても長崎県と長崎県立大学との開発共同研究を行い、製造販売を目指している。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績が、1 件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。